

令和元年度 森林環境譲与税の使途状況（決算）【和歌山県広川町】

本年度は森林環境譲与税の導入初年度であり、本譲与税事業の効率的な実施環境を構築するために、市町村で管理する林地台帳用の電算システムのバージョンアップを実施しました。加えて、経営管理意向調査や、間伐及び作業道修繕に係る本町独自の補助事業を実施しました。

なお、上記の補助事業については、取組事例として林野庁様のホームページで全国に紹介されました。

（林野庁様ホームページ：https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/kankyousei_jouyousei.html）

また、実績及び使途状況の詳細については、下表のとおりです。

※令和元年度は4,416,000円の森林環境譲与税が広川町に譲与されました。



No.	事業区分	事業名	事業内容・実績等	事業費 (円)
1	意向調査	経営管理意向調査	森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査を実施しました。 令和元年度調査実施面積：119ha	990,000
2	私有林整備	広川町森林機能回復整備事業	林業事業体を実施する切捨間伐事業のうち、国及び県補助の対象とならないものについて、haあたり125,000円以内で補助金を交付しました。また、災害等で被災した作業道の修繕事業のうち、国及び県補助の対象とならないもの、かつ事業終了後に当該年度を含む2年度以内に同箇所の間伐を行うものについて、工事費の1/3相当（上限あり）の補助金を交付しました。令和元年度実績：「間伐実施面積：9.42ha、作業道修繕延長：1,650m」	2,102,500
3	意向調査の準備作業	林地台帳作成業務委託事業	意向調査で使用する林地台帳システムの整備を行いました（従前は国で作成された無償の簡易システムを使用）。	405,000
4	基金積立（森林整備等）	基金積立	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）等に備え、基金への積立を行いました。	918,500
計				4,416,000